

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	検査センター運営					所管	健康部 生活衛生課
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標]						
		[小 柱]						
		[施 策]						[事業開始] 昭和 5 9 年度
								[終了予定] - 年度
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	食品衛生法、地域保健法				
	事業対象	直接の対象:試験検査を行う職員および付設集会室を利用する区民 最終的な対象:一般区民						
事業目的	1、検査センターの運営を通じて、事業(各種検査)の有効的・効率的実施を図る 2、付設集会室を整備することにより、区民の利便性の向上を図る							
事業内容	(1)検査センター施設・設備の管理、保守点検等各種委託、物品調達 (2)付設集会室の管理							
委託の有無	一部委託	委託内容	施設・設備維持管理のための保守点検委託 検査に関わる特殊設備・機器等の保守点検委託等					
補助金の有無	国							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	開庁日数	(日)	244	244	243	243	
	成果指標							
	決算額	(単位:千円)			24,093	19,420	21,653	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			17,680	16,575	17,647	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			12,336	12,323	11,908	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			4,904	66	2,733	
		総経費			34,920	28,964	32,288	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			225	163	173	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			631	1,179	2,019	
一般財源(区負担額)			34,064	27,622	30,096			
前回評価から改善した事項	保守点検で集会室の空調不良を発見し、利用者に影響なく修繕ができた。老朽化した設備(排水中和設備、給排水設備9箇所、受水槽、自動扉等)の修繕・交換工事により、規制法の順守と安全性の確保を図った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	各種検査事業の実施および付設集会室の区民利用のために不可欠な事業である。					
	効率性	3	買い替え備品や設備修繕の内容によりコストの年度変動は大きいですが、その他のコスト・効率性に大きな変化はない。					
	手段の適切性	3	備品や修繕工事以外の事業規模は一定、執行率は90%以上であり、手段は概ね適切である。					
	目的達成度	3	管理・運営および事務処理の継続により「各種検査」を支えている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
検査センターの施設・設備の維持管理から「各種検査」事業全般に関わる庶務事業であり、現状維持が必要である。						維持		